



SUMMER UNDER-GROUND

Recorded in 2011

DIGITAL BOOKLET

SENTIVE
DIGITAL EP





TOC

目次。

- OUTLINE - 作品概要
- SENTIVE FRIENDS - スタッフクレジット
- TRACK LIST - 収録曲リスト

- ◆ #01 : 生く - 歌詞
- ◆ #02 : ラストサマー
- ◆ #03 : 砂時計
- ◆ #04 : 金木犀

- ◆ #05 : DOOR #306 "RE:DEMO-MASTER"
- ◆ #06 : 呪縛 "blackcandy-Style"

- ARTWORK - アートワーク
- STORY 01 - 制作や楽曲について
- STORY 02

- BACK COVER - あとがき



OUTLINE

作品概要。

作品タイトル： SUMMER UNDER-GROUND
収録楽曲数： 全 10曲 （ 4曲 + ボーナストラック 6曲）
頒布形態： DIGITAL EP
頒布開始日： 2024年 11月 16日
作品サイト： <https://sug.sentive.net/>

SENTIVE にて、2011年から 2013年頃までに
歌の収録やアレンジ、ミックス作業も終え、
ほぼ完成していたけれど諸々の事情で
公開できていなかった楽曲たちを収録しました。

ちょっと懐かしくて、夏の終わりと秋の始まりを
切なく歌った楽曲たちでまとめています。

詳細は [STORY](#) にて書き留めております。



Songwriting : SENTIVE
NAKI
コツキミヤ
sayuki*
Ippei Yoshino

Vox : YuNa
葉山 りく
コツキミヤ
坂崎 真央
NAKI
Ippei Yoshino

Arrangements : SENTIVE
Chorus Arrange : NAKI (#02, 04)
Instruments : SENTIVE
Solo Piano : NAKI (#03)
Mixed/Mastering : SENTIVE

Artwork/Design : actuo
Photography : actuo
T.Harada (#01, 03)

Produced : SENTIVE
Production : background
Record Label : DISCHORD
Product Number : DISDIGI-EP-S001

SENTIVE FRIENDS

スタッフクレジット。

制作 : 2011年



#01 : 生く

Vox : 葉山 りく

Lyrics : SENTIVE

#02 : ラストサマー

Vox : コツキミヤ
NAKI

Lyrics : コツキミヤ
NAKI

Chorus Arrange : NAKI

#03 : 砂時計

Vox : 坂崎 真央
NAKI

Lyrics : sayuki*
NAKI

Solo Piano : NAKI

#04 : 金木犀

Vox : YuNa
NAKI
Ippei Yoshino

Lyrics : SENTIVE
Ippei Yoshino

Chorus Arrange : NAKI

[BONUS TRACK]

#05 : DOOR #306 "RE:DEMO-MASTER"

(from, "CYDER" 2004)

Vox : 坂崎 真央
Lyrics : SENTIVE

#06 : 呪縛 "blackcandy-Style"

(from, "be deeply in love." 2004)

Vox : YuNa
葉山 りく
Lyrics : SENTIVE

#07 : 生く "Like-A-BGM"

#08 : ラストサマー "Like-A-BGM"

#09 : 砂時計 "Like-A-BGM"

#10 : 金木犀 "Like-A-BGM"

TRACK LIST

収録楽曲リスト。

BONUS TRACK について。

DOOR #306

"RE;DEMO-MASTER" は、
2004年に SENTIVE より
リリースされた "CYDER" と
いう LP/CD からの収録です。
当時収録されていた
バージョンとは違うミックス
の音源となります。

呪縛 "blackcandy-Style" は、
2004年に SENTIVE より
リリースされた
"be deeply in love." という
LP/CD 収録の "呪縛" を、
別企画にて制作したアレンジで、
過去に期間限定で頒布していた
音源です。

#07 - #10 までの音源は、
インスト音源です。



息を切らして走るこの道
終わりと始まりを繋ぐ細いアステリズム

北斗七星 南斗六星
夏の夜 見上げた先

北の空に終わる意味を
南の空 生きる意味を
夏の闇に届く光 背中合わせの星座たち
水飛沫浴びた様な夜 見上げて

終わる事から生きる事知り
蝉の声も掻き消す程の生命 叫んでいた

目には見えないその輝き
誰もが胸に宿して――

降り注いだ過去の光
泳ぐ様に仰いで
追いかけては息を切らし
永遠の距離を走る 線を引いた星の道

ケフェウスの光が届く 夏が走り切る頃
僕はひとつ またひとつと
光放ちゆくだろう
その光、次の夏に届くように

#01 | 生く

Vox : 葉山 りく
Lyrics : SENTIVE



繋く手の間に 想いが溢れだして
離れた瞬間ふいに 夏の終わり訪れる
砂の様に思い出が 波に流されてくの

地平沈む
太陽は直前に
その紅をなおさら強くして

まぶしすぎて 目を細めた色彩
私には強すぎるのよ so pain

今 あなただけ隣にいない砂浜には
ふざけあいじゃぐ夏の残像

繋く手の間に 想いが溢れだして
でも はるか遠く見える
まるで蜃気楼みたい
砂の城は乾いて いつか消えてしまう
あなたの思い出なら
ずっとここにあるのに

最後の太陽 姿を消してく
アルクトゥルス 輝き始めてる

君の口に 零れた言葉が リフレイン
見え隠れする My Heart

this summer この夏は陽が強く
the sun is stronger
deep shadows
leave deep scars on the sand 砂に刻まれた深い影
like waves that come and go 寄せては返す波のように
say what you like and leave it so 言葉だけ残していった

if you place faith in a mere mirage 残像に期待して
memories under sabotage 思い出に捕らわれる
who's to say what'll you do 誰にも決められない
just another bit of pain to choose 何を選んでも辛いだけ
1-2-3-4-5-6-7-8
reflections on an old heartache 胸の痛みを思い出す
at this summer's end この夏の終わり

今 この胸には潮騒 匂いだけが残る
消す事なんて もう できないから

もう戻れない? Summer
あなたと私の愛は
でも 遠く波の間
感情は浮いて沈んで
今は涙も出ない
あなたと過ごした季節 そう
確かに私だけ 夏のヒロインにしてた
太陽に刻み付く あの日の想いを
貝殻に そっと口づけして
胸にしまうわ

#02 ラストサマー

Vox : コツキミヤ
NAKI

Lyrics : コツキミヤ
NAKI

Chorus Arrange : NAKI



その手を離さないで 最後にしたくないの
こぼれ落ちていく砂 そっとかきあつめて

ah 砂は こぼれおちてく
ah そっと かき集めてる

見つめ合った瞬間に恋に落ちていた
辛い事や 悲しみも 全部知りたくて

一人行く 真夜中の道
その先に 貴方の笑顔

その手を離さないで 私が迷わぬように
繋ぎあったそこから めくもり感じるの
言葉で聞かせて思いを 伝えて胸の内を
闇に落ちていく前 そっと囁いて

ah 手と手 迷わないように
ah そっと 囁いてるの

穏やかな時続くほど 不安が増えてく
些細なこと気になって そこから壊れる

すれ違い増えていくたび
さらさらと零れ落ちる砂

この手を離さないで 最後にしたくないの
貴方と描く未来 そっと夢見てるの

「私のこと好きなの？」 何度も聞いてみるの
零れ落ちる涙の 意味を知ってほしい
不安から救ってほしい あなたのその言葉で
その手を離さないで最後にはしないから

ah 落ちる 涙の意味を
ah ずっと 離さないから

#03 砂時計

Vox : 坂崎 真央
NAKI

Lyrics : sayuki*
NAKI

Solo Piano : NAKI



*"Black to Blue and White to Yellow
A color and sounds change with time
cold to hot ca'z feel her warmth
call to her she's hair flow"*

「黒から青 そして白から黄へ
色と音は移り変わっていく
温まるのは彼女のぬくもりを感じているから
彼女を呼ぶと 髪がたなびいた」

*"Black to Blue and White to Black
I look my shoulder but you are away
can't express feeling so I close my eyes
the color and sounds I bring back"*

「黒から青 そして白から再び黒へ
僕の隣に君はもう居ない
僕は自分の気持ちを上手く言葉にすることが出来なくて
気持ちをそのままに目を閉じた
あの色と音なら 思い出せるから」

黒南風 青時雨を残して 雲の峰が湧く
白南風 街に吹き出し 夏の夜半が始まる

恋しくて縫った君の袖に花火の残り香 感じる
短夜に君と二人で居れた虫が鳴く季節は 夏果

「また会える」 それだけ 頷くだけ 今の二人は "それだけ" で
それぞれの日常に戻る頃に金木犀香る 継ぎの季節

汽車の窓に

"Remember..."

「ちゃんと覚えている……」

身体預け

"Remain..."

「ちゃんと残っている……」

夏を越える

"Trust..."

「大丈夫……」

#04

金木犀

Vox : YuNa
NAKI
Ippei Yoshino

Lyrics : SENTIVE
Ippei Yoshino

Chorus Arrange : NAKI

秋色付く

"....We'll back"

「……僕達はまた会える」

DOOR #306

"RE:DEMO-MASTER"



From, "CYDER" 2004

Vox : 坂崎 真央

Lyrics : SENTIVE

What you need to know, In my heart
"Close the [door]"

私の心にある
あなたが知る必要のある事を教えてあげる
さあ まずはドアを閉めて

What you need to know, Take my heart
"Close the [door]"

あなたが知る必要のある事を知ったら、私を奪って

To sweet.....
To feel.....
Just for you
I need your help

それはとても官能的で
あなたにも必要な事
私もあなたの存在が必要なの

"Touch me, Darling"

「さあ」

Take my heart, Take me from here
Please give love / For me / To me.....
Open your heart, Open my [door]
I am wishing so
Take my heart, Take me from here
Please give love / For me / To me.....
Take my heart, Take my heart

私を奪って ここから奪い去って
ただ愛だけを ただ私だけに下さい
あなたも本音をさらけ出して
私はどんなにそれを切望しているか
私を奪って

What you need to know.....
"Open the]door["

きっとあなたは「NO」なんて言えないはず

"You can't say NO"

Take my heart, Take me from here
Please give love / For me / To me.....
Open your heart, Open my]door[
I am wishing so
Take my heart, Take me from here
Please give love / For me / To me.....
Take my heart, Take my heart

私を奪って ここから奪い去って
ただ愛だけを ただ私だけに下さい
あなたも本音をさらけ出して
私はどんなにそれを切望しているか
私を奪って

What you need to know, In my heart
"Close the [door]"

さあ まずはドアを閉めて



Vox : 葉山 りく
YuNa

Lyrics : SENTIVE

赤く腫れ上がる
心と言う臓器

潰す
あなたは

迷い子の様に
私に椅子は無く

彷徨う

足首
骨になるまで

あなたが欲しい

あなたじゃなきゃ嫌

手を引いて欲しい
回廊の渦の外へ

dammit,

If only You & Mebecome.
Never / Ever.

I'm in love with you.
.....Have you ever been in love?

もし貴方と二人きりだったら。
そんな事は在り得ないけれど。
恋をしている。
貴方は恋をした事、ある？

I find you,
inside me.

私の中には貴方が居る。

ねえ

** こちらは、オリジナルの歌詞から一部を抜粋したものになります。 **

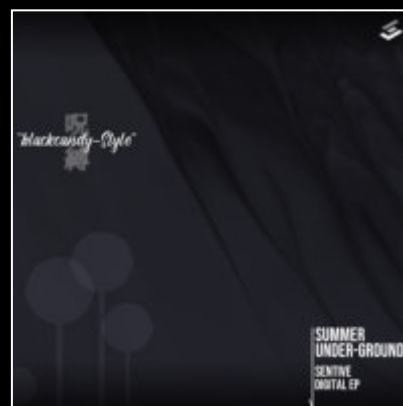


各楽曲のイメージ・ジャケットです。
オリジナルサイズの画像データは、
ご購入頂いた商品ページから別途ダウンロードが可能です。

Design : actuo
Photography : actuo
T.Harada (#01-生く / #03-砂時計)

ARTWORK

アートワーク。





SUMMER UNDER-GROUND

EP タイトルは、“Underground” を 2つの意味に分割し、
わざわざ再び繋げており、“ground” の方は、
「理由、原因、根拠」などの意味として使用しています。
(本来なら “grounds” とすべきですが、「さまーあんだーぐらうんど」の
方が、なんだかスムーズで気持ち良かったので許してください本当に)
「夏が終わり秋が始まる中での、ちょっぴり切ないお話」がテーマなので、
ガラガラな夏が終わる頃、心が深い所まで沈むような出来事があったよ、
みたいなイメージで、このタイトルにしました。
(このタイトルも 2011年の時点で決まっておりました……)
そんなこんなで、Artwork のジャケットも、なんだか切なく涙している
フェイスの写真を使ってみたりしております。

生く

“最期/死”を知って、改めて“生きること”について考え始めたような、
出来るだけ悔いすること無く自分を生きて、謳歌しようぜみたいな曲です。
アレンジ的には、夏の終わりの夜空をイメージし、キラキラしているけれど
ちょいと切ない雰囲気を目指しました。
葉山りくさんには、“生きる力”を感じるような、文字通り力強い歌唱を
して頂き、間奏の「はっ！」という掛け声的なアイディアも頂いて、
その掛け声に併せてアレンジさせて頂いたその間奏が、なんだか、
個人的に一番“生きる”ってパワーを感じとれて気に入っております。
そして Artwork 用の写真には、T.Harada さんにドンピシャな写真を
ご提供して頂き、これもまた感謝しております。
ちなみに当時の初期仮タイトルは、「わっしょい」でした。

ラストサマー

なんだか懐かしい歌謡曲的な、けれどもモダンな雰囲気を目指しました。
コツキミヤさんにテーマに沿って作詞をして頂き、切ない恋のお話と、
その舞台の海で太陽が沈んでいく……ような雰囲気に合わせて、
最終的なアレンジを(いつものやり方なのですが)させて頂きました。
全体的に楽器の演奏を“波”のイメージで弾きたおしまりました。
ベースやオルガンやシンセやピアノ……と色々入ってはおりますが、
人がまばらになった夏終わりの海に寄せる波をイメージして
(リズム/ドラムの金物系(シンバルとか)も打ち付ける波しぶきとかのソレで)
聴いていただけると、ひゃっほう嬉しいです。
また、NAKI さんには英語コーラスでモダン感を付けて頂きましたカッコよい。
ちなみに当時の初期仮タイトルは、「しゅびどゅび」でした。

STORY 01

制作と楽曲。

セルフ・ライナーノーツ的な
コメントです。



砂時計

こちらも“#02：ラストサマー”と同様に、懐かしい感じがするんだけどモダンな感じもするような良くわからない雰囲気を目指しました。
テーマに合わせて sayuki* さんに作詞をして頂き、タイトルにもなった“砂時計”をアレンジのコンセプトにして進めさせて頂きました。
アクセントの強い短い音を跳ねたように弾いて、少し焦りを感じる動きや、制限時間みたいなものがある雰囲気も出たくて、中盤からリフは4つ打ちのリズムに変更したり、砂がどんどん落ちていき経過していく様が出るようにこの楽曲も(他人に伝わらないのは百も承知で)諸々と遊ばせて頂きました。
ここでは書ききれないぐらい音遊びもたくさん出来て、楽しかった一です。
アクセントとなるコーラスと、間奏のピアノのソロ演奏及びアレンジは、NAKI さんをお願いしましたが、イメージ通りに弾いて頂きサイコー。
ちなみに当時の初期仮タイトルは、「suna」でした。

金木犀

この楽曲は、同じく SENTIVE で制作した“向日葵が終わる日”というボイスドラマ作品で書いた BGM から、歌曲へアレンジしたものです。
歌詞の内容も、アレンジのコンセプトも、だいたいその作品のイメージでそのまま制作しております。
その作品の歌曲でも YuNa さんに歌って頂いていることもあり、今回のアレンジ曲でも歌声のイメージがピッタリだった為、お願いしました。
セミの声を電子的にかつアレンジにも合うよう音楽的に作りたかったのですが、どうも上手く馴染まず事に力及ばず、破綻しない部分にだけ入れてみました。
(「いや、そうは聞こえんやろ」っていうミンミンゼミ、ツクツクボウシ、ヒグラシの鳴き声をちょっとだけどこかに忍ばせてあります)
前半は吉野くんに、仕上がった歌詞に合わせてラップ及び作詞をして頂き、またまた NAKI さんにコーラスワークをアレンジして頂きました。
そんな前半は状況とか風景を表現していたのでベースはデジタルで打ち込み、YuNa さんも加わりフックに入る後半は、セリフや感情が入るようなシーンになるので、ベースもギターも生演奏で弾いたりして展開を作ってみました。
そして EP 本編最後の曲となるので、出来るだけ「次の夏への希望」を持って終われるような、明るい未来が待っている感を出して締めてみました。
ちなみに当時の初期仮タイトルは、「おわせみ (終わる蝉の声)」でした。

#07-#10：各曲の“Like-A-BGM”

言ってしまうえばインスト・バージョンです。
今回のアレンジのコンセプトから、装飾的なメロディーもたくさん入れた為、BGM としても聴けそうかな、と思い収録しました。
(WAV/有料版にのみ収録されております)

STORY 02

制作と楽曲。

セルフ・ライナーノーツ的なコメントです。



この度はお手にとって頂き、誠にありがとうございました。

如何ともし難かった事情があったとは言え、まさかまさか、
2011年頃に制作し、収録し、ほぼ完成していた楽曲たちを、
この 2024年の秋にリリースできることになろうとは、
と本人も思いながら後書きしています。

あの時のアレ、やっところリリースさせて頂きます……と、
皆様にご報告させて頂いた際には――

ちょうど私生活でこういうことがあった時期のやつだ！ とか、
どんなふうにしたか覚えてねえ！ とか、
若い！ 自分の声が若い！ とか、
干支一周しましたね！ とか、回顧にひとしおです。

……本当にごめんね。

ともかく、ちょっと切なく夏の終わりと秋の始まりを
イメージした楽曲たちを、ちょうど良い時期に
リリースできることをご協力頂いた皆様に深謝です。

そんな作品をお手にとって頂いた貴方様にも感謝です。

もしご感想をいただけるのであれば、どうかぜひぜひ。
[Wavebox](#) | [Web Clap](#) | [Mail Form](#) ……などからー。

to talk nonsense
SENTIVE FRIENDS

background - <https://back-ground.biz>

SENTIVE - <https://sentive.net>

**Reproducing all or any part of the contents is prohibited.
Please do not share with any third party.**

※ネット上や音声・動画サイトへのアップロード及び公開する事を禁止いたします。
※個人用途に限るバックアップ以外での複製（コピー）行為を禁止いたします。
※このデータをご利用した結果生じた損害について、一切責任を負いません。

BACK COVER

あとがき。